

二〇一二年六月一日

はく子
よう子
ぽんこ
こすもす
わかば
わかば
かかし
かかし
素 秀
宏 虎
なつき
素 秀
ぼんこ
むべ
なつき

萬緑が囲む山湖の面真青
蝌蚪の田の水面をよぎる電車影
噴水の中に腕白仁王立ち
立話横すり抜けて夏燕
風に馳す沖の白帆や青岬
風鈴に風筋を聞く夕まぐれ
下闇に黒のネクタイ緩めをり
三世帶揃ひの家紋田植笠
片向けし日傘にしぶき保津下り
番傘の細手に重し走り梅雨
産湯井の甕に水輪や青時雨
風生まるたびにうねりし蓮青葉
染むることやめて幾年洗ひ髪
塔頭の屋根光り合ふ薰風裡